

# 最近の取組状況等について



**SHIF**  
OKAYAMA Next Public  
Transit Network

# 協議会の開催状況



## ■ 設置の目的

### < 課題 >

- 本市の公共交通は、特に路線バスにおいて、H30年時点で市内を運行する路線の約8割が赤字となっており、運行区間は約20年間で25%減少するなど対策は待ったなしの状況
- 人口減少・高齢化が進行する中、このまま公共交通の負のスパイラルが続くと、市民の移動手段の確保がますます困難となり、市民生活の質や都市の持続可能性の低下を招く



### < 目的 >

- このような認識のもと、将来にわたって利便性の高い公共交通ネットワークを構築することを目指し、交通事業者等関係者と十分に協議を行いながら、計画策定や各種施策を実施するために本協議会を設置

## ■ 開催状況等

年度	月	回	主な議事
H30	05月	第1回	・協議会の設置、公共交通の現状と課題
	08月	第2回	・公共交通の今後の方向性
R01	04月	第3回	・目標達成に向けて検討する施策
	08月	第4回	・目標達成に向けて検討する施策（路線再編ケーススタディ）
	11月	第5回	・地域公共交通網形成計画の全体像、施策実現に向けた課題
R02	03月	第6回	・地域公共交通網形成計画（案）
	10月	第7回	・地域公共交通利便増進実施計画の具体施策（3本柱） ①バス路線の再編、②都心の運賃適正化、③高齢者・障害者の運賃割引
	02月	第8回	・具体施策（3本柱）に関する今後の方針
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響を踏まえて、検討は当面中止（事業者からの申し出）</li> <li>・この間、市と全事業者で利用促進等の取り組みを推進 【R3.10～継続中】3本柱の1つ「③高齢者・障害者の運賃割引（ハレカハーフ）」を実施 【R3.11～R5.12】運賃無料DAY、運賃上限200円キャンペーン実施</li> </ul>
R05	06月	第9回	・持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた今後の方向性
	11月	第10回	・地域公共交通計画（素案）、今後のスケジュール
	02月	第11回	・地域公共交通計画（案）、地域公共交利便増進実施計画（案）
<b>2024年2月 地域公共交通計画 策定</b>			
<b>2024年4月 地域公共交通利便増進実施計画・第1弾 認定（国土交通省）</b>			
R06	12月	第12回	・支線第1号「妹尾・北長瀬線」の運行計画
	02月	第13回	・都心の運賃適正化の実施方針 ・公共交通トータルデザインの検討（支線の愛称、車両デザイン等）
R07	06月	第14回	・支線の運行計画（6路線）
	12月	第15回	・利用促進策の検討
	02月	第16回	・公共交通トータルデザイン（乗継環境、バスの見える化） ・路面電車ネットワーク計画の推進 など
			【R7.10～】3本柱の1つ「都心の運賃適正化」を実施
R08	07月	第17回	・今後のバス路線再編について

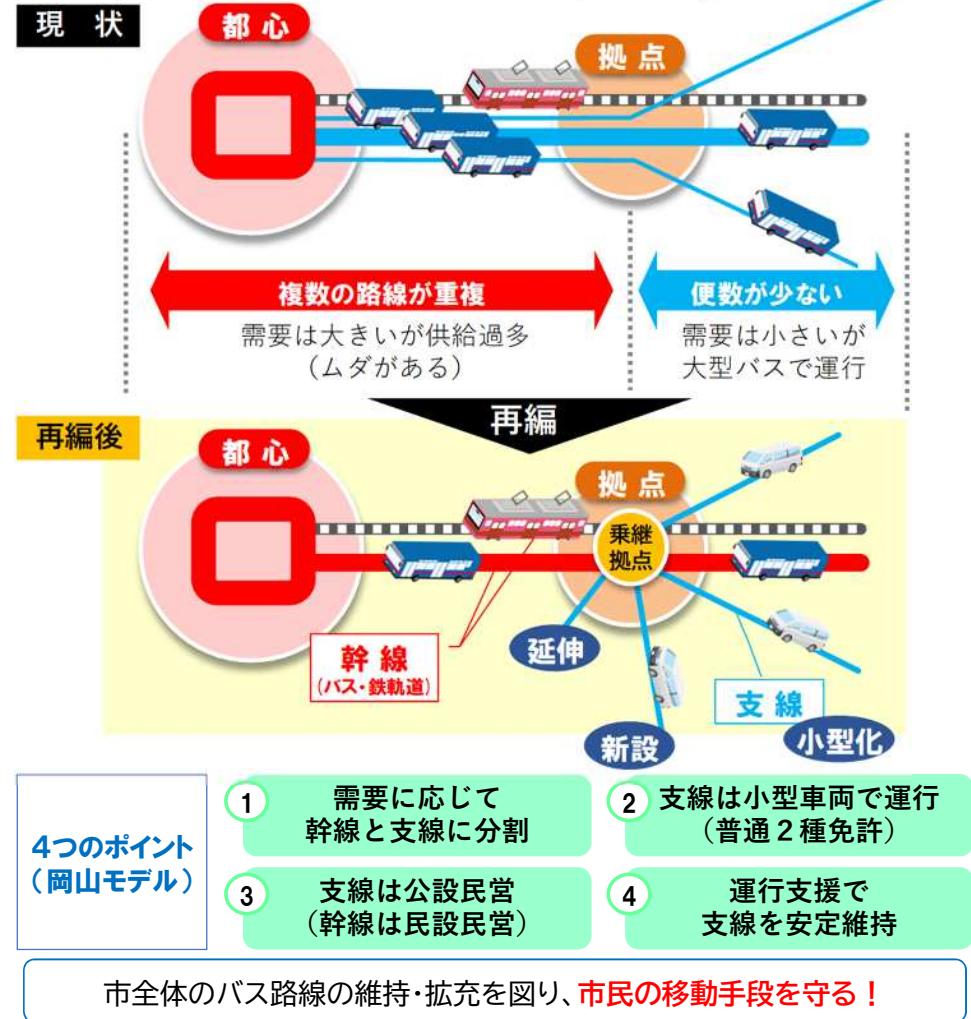
**本日**

# 路線バス再生に向けた5か年計画

## ■ 現状と課題、施策の方向性



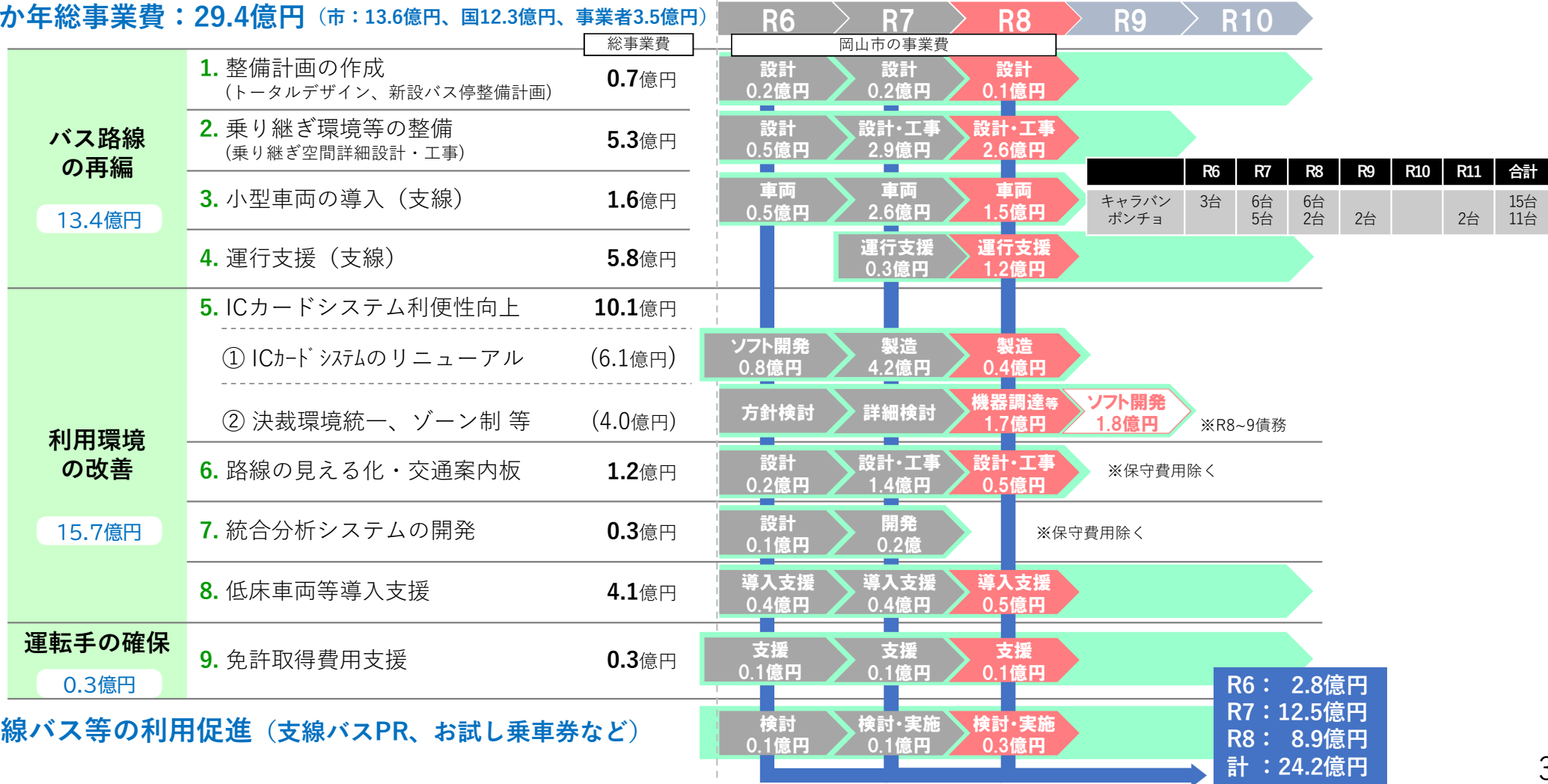
## ■ バス路線の維持・拡充に向けた新形態 (岡山モデル)



# 事業内容・スケジュール (R6～R10)



## ■ 5 年総事業費：29.4億円 (市：13.6億円、国12.3億円、事業者3.5億円)



キャラバン ポンチョ	R6	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	3台	6台 5台	6台 2台	2台		2台	15台 11台

R6： 2.8億円  
R7： 12.5億円  
R8： 8.9億円  
計： 24.2億円

# 乗り継ぎ環境の整備

## ■ 築港新町バス停【4/1から供用】



築港新町バス停の乗り場に関する情報

天満屋 ハッピータウン	1	1 岡山駅方面	幹線 小串・上山坂線【両備】
	2	2 岡山駅方面	幹線 渋川特急【両備】※特急バス
シネマタウン 岡南	3	3 労災病院・ 南区役所方面	F02 妹尾・岡南線【八見】 F07 芳泉・岡南線【岡電】
	4	4 小串・玉野方面	幹線 渋川特急【両備】※特急バス 幹線 小串・上山坂線【両備】

デジタルサイネージ



バリアレス縁石



■ 今後の整備予定 ※路線再編の実施時期にあわせて整備

<津高営業所>



<その他（標準タイプ）>

- ・ 備前一宮駅
- ・ 芳賀佐山郵便局前バス停
- ・ 平津橋バス停
- ・ 西大寺駅バス停
- ・ 操南団地入口バス停
- ・ 汗入バス停

<サインージ設置>

- ・ 高島駅
- ・ 庭瀬駅

※北長瀬駅・西大寺BC  
は設置済み

標準タイプ（イメージ）



# 視認性の高いバス停サインの整備



## R7年度

- 問屋町東バス停 (F01)
- 南区役所北バス停 (F02・F07)

## R8年度～

- 10か所程度整備 (目標)

# 最新の利用状況等

## ■ 1日あたり利用者数（年間）

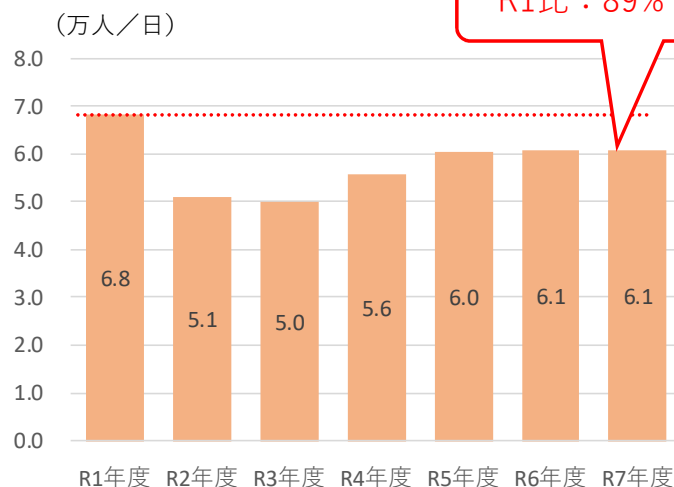
- 鉄道（JR）の利用者数は、コロナ禍前（R1）を超えて、**最高値を更新**（岡山市でデータ収集を開始した平成3年以降）
- 一方、路線バス・路面電車は、コロナ禍前の水準に戻っていない状態で、**路線バスはR5年度から横ばい傾向、路面電車は前年度から減少**

### 鉄 道



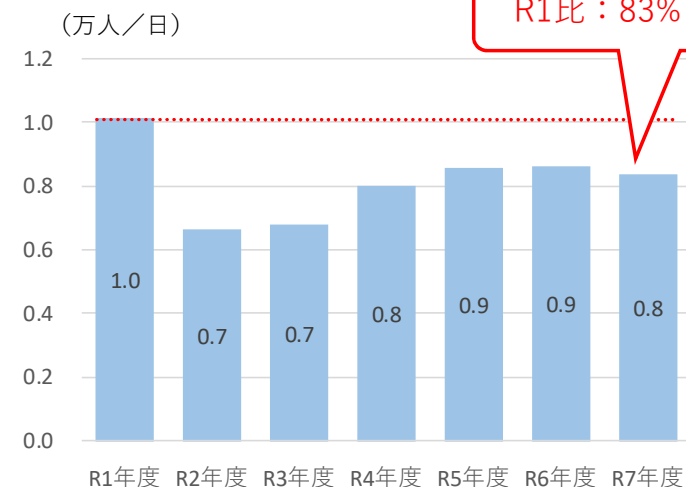
※市内33駅乗車人数

### 路線バス



※市内8社合計（市外利用分も含む）

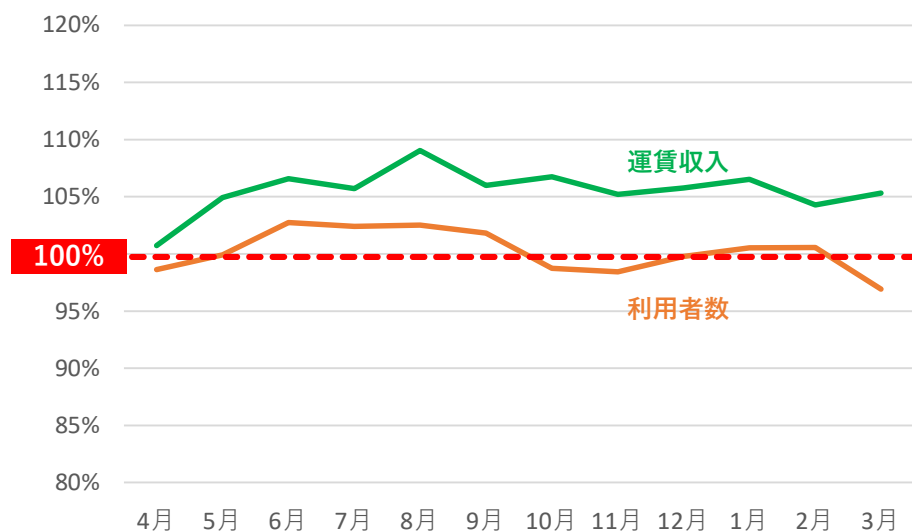
### 路面電車



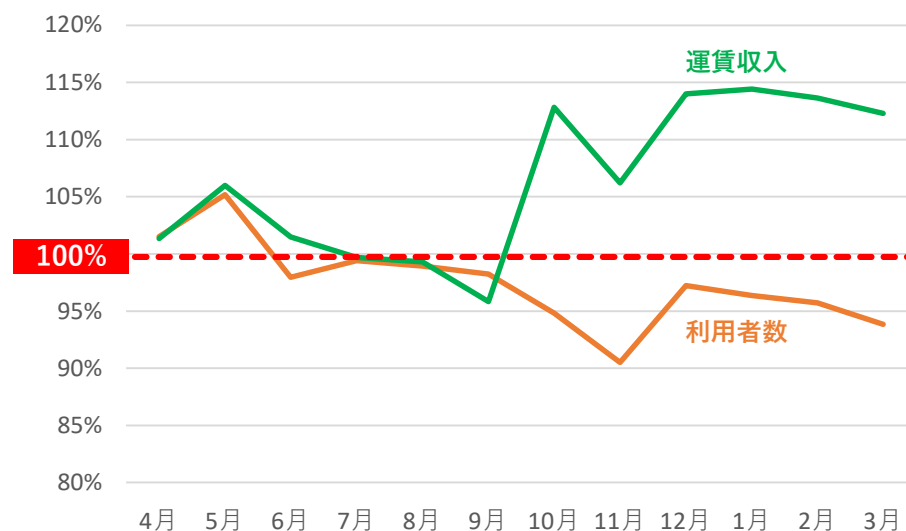
## ■ 月ごとの利用者数・運賃収入 (R7/R6)

- 路線バスは、空港リムジンバスの値上げ (R7.2) や都心の運賃適正化 (R7.10) により、**令和7年度の運賃収入は6%増加したが、下半期 (10月-3月) の利用者数は1%減少**
- 路面電車は、都心の運賃適正化 (R6.10) により、**令和7年度下半期 (10月-3月) の運賃収入は12%増加したが、利用者数は5%減少**

< 路線バス (R7/R6) >



< 路面電車 (R7/R6) >



# 支線バスFLAtの利用状況等

## 7路線全体

【現状】

2.9人/便  
(R8.5月実績)

【当面の目標】

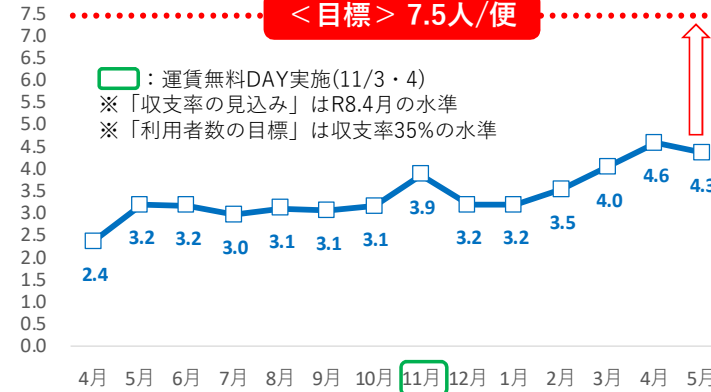
7.0人/便  
(収支率35%水準)

目標は、市の運行支援（運行経費の最大65%）のもとで、安定的に路線が維持できる「収支率35%」を確保するために必要となる水準。目標値は、各路線の便数や延長による運行経費をもとに算出した7路線全体の1便あたりの運行経費を平均客単価で除したものであり、当面はこの達成を目指して取り組む。

### 【F01】 妹尾・北長瀬線(八晃)

R7.4.1~(平40便/休40便)

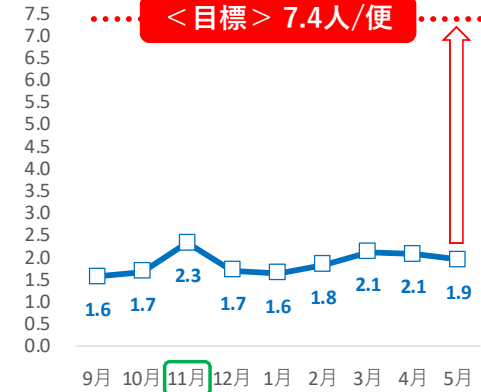
収支率の見込み：22%



### 【F02】 妹尾・岡南線(八晃)

R7.9.15~(平38便/休38便)

収支率の見込み：10%



### 【F03】 高島・旭川荘線(両備)

R7.10.1~(平16便/休0便)

収支率の見込み：55% 平日・朝夕のみ



### 【F04】 高島・備前原線(両備)

R7.10.1~(平8便/休10便)

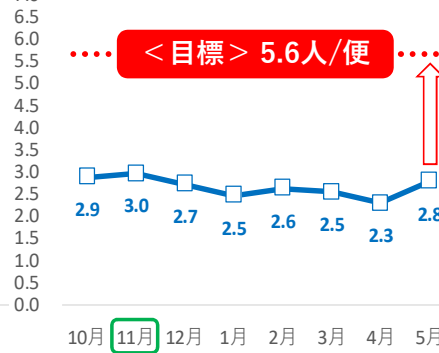
収支率の見込み：11% 日中のみ



### 【F05】 東山・操南台団地線(両備)

R7.10.1~(平6.5周/休3周)

収支率の見込み：14% 日中のみ



### 【F06】 庭瀬循環線(両備)

R8.4.1~(平14周/休12周)

収支率の見込み：7%



### 【F07】 芳泉・岡南線(岡電)

R8.4.1~(平8便/休8便)

収支率の見込み：13% 日中のみ



# 利用促進策の実施方針（前回協議会より）

## ■ 路線バス分科会で事業者から提案のあった利用促進策

お試し無料キャンペーン  
実施中

### 支線バス

- 1 **お試し乗車券**による「バスに乗る習慣づくり」
- 2 **鉄道・バス乗り継ぎ割引**による「シームレスな利用環境の構築」
- 3 沿線地域への**時刻表ポスティングの定期実施**
- 4 **経済的インセンティブ（買い物券など）**導入による「自動車利用からの転換」
- 5 公民館等で**高齢者を対象にバス教室**
- 6 沿線企業の**従業員等への啓発**

### 公共交通全体

- 7 決済環境の**ICOCA等全国交通系ICカードへの統一**と、  
**定期券のWEB購入サービス**導入による利便性向上
- 8 **ゾーン運賃制及び金額式定期券の導入と中・長距離の負担軽減**
  - ⑨ OKAYAMAハレ活プロジェクトとの連携（バス乗車でポイント付与）
  - ⑩ 1日乗車券と周辺部の駐車場料金負担で都心の回遊性向上
  - ⑪ ももちゃりとの連携（バス含めた1日乗車券、バス定期利用者の割引等）
  - ⑫ バスレーンの実効性確保、延長
  - ⑬ パーク&バスライド駐車場の増強
  - ⑭ 各社のお客様センターの統合
  - ⑮ 利用促進に関する小委員会を設置（月1回程度の定例会）

R8年度実施

実施に向けて  
検討中

R9年10月実施  
に向けて準備

R9年10月実施  
に向けて検討

実施の可能性  
について検討

# 支線バスFLAtの利用促進（事業者提案）

お試し無料  
キャンペーン  
実施中



## 1 FLAtお試し乗車券による運賃無料キャンペーン

- FLAtは、バス路線のない地域に新設・延伸するため、自動車利用が中心の暮らしから、バスに乗る習慣を形成していくことが重要
- FLAtを「知ってもらう」「乗って体験してもらう」きっかけを提供し、習慣づくりに向けた取組として、一定期間に複数回利用が可能となるお試し乗車券による運賃無料キャンペーンを実施し、定着に向けた利用促進を図る

### 実施概要

**【対象】** 実施時点で運行中のFLAt全線（現在7路線）

**【期間】** <第1弾> 令和8年 6月1日（月）～ 7月31日（金）  
<第2弾> 令和8年10月1日（木）～11月30日（月）

**【利用方法（運賃無料）】**  
お試し乗車券を指定ボックス（運賃箱付近）に入れて降車

**【お試し乗車券の入手方法】**  
FLAt車内、沿線の公共施設・一部商業施設・病院等に設置

<お試し乗車券>



## 2 鉄道からFLAtへの乗継割引

- 公共交通全体の利用促進の観点から、多くのFLAtが駅に接続している特長を活かした利用促進策として、鉄道の利用後にFLAtを利用した場合のFLAtの運賃を半額割引とし、沿線だけでなく、広域からの支線バス利用の促進を図る

### 実施概要

**【対象】** 駅に接続するFLAt

**【期間】** 令和8年 8月1日（土）～ 令和9年3月31日（水）  
※FLAtお試し乗車券による運賃無料キャンペーンの期間を除く

**【利用方法（運賃半額割引）】**  
鉄道を利用した後にFLAtを利用する場合、駅発券機で出力できるICカード利用明細やスマートフォンでの決済画面等をFLAtの降車時に運転手に提示

<現時点の対象路線> F03：高島・旭川荘線  
F01：妹尾・北長瀬線 F04：高島・備前原線  
F02：妹尾・岡南線 F06：庭瀬循環線

利用履歴証  
（駅発券機で出力）



スマートフォン決済画面  
（ウォレットアプリ）



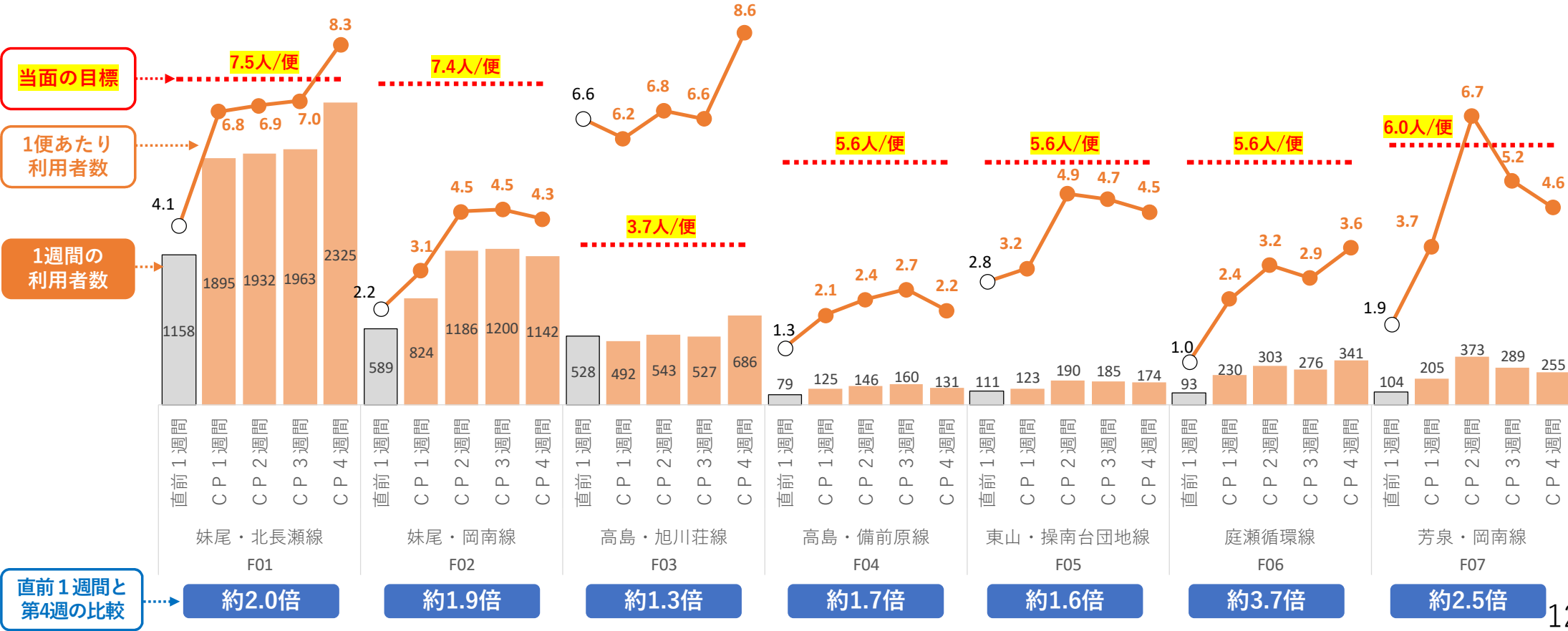
全体  
プラン

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 FLAtお試し乗車券	第1弾				第2弾					
2 鉄道からFLAtへの乗継割引			←					←		

# お試し無料キャンペーン利用状況

## < 1週間ごとの利用者数 >

- 複数の路線で利用者数が2倍以上となっており、目標の水準を超えた路線もある
- 一方、増加率が鈍化している路線も多く、引き続き、市と事業者で周知に取り組む



# 公共交通全体の利用促進（事業者提案）

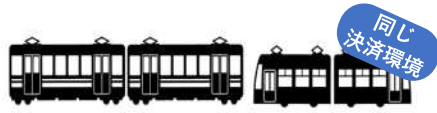
R9年10月実施  
に向けて準備・検討

## 7 決済環境のICOCA等全国交通系ICカードへの統一と定期券のWEB購入サービスの導入による利便性向上

- 現在、ハレカが中心となっている路面電車・路線バス・支線バスの決済環境を全国各地で相互に利用可能なICOCA等全国交通系ICカードに変更することで、**鉄道・路面電車・路線バス・支線バスの決済環境を全国交通系ICカードに統一**する。
- これにより、**定期券のWEB購入が可能**となり、**利用者が窓口に出向く負担と、窓口や運転手の業務負担の軽減**を図る。

### ■ 目指す決済環境

01 全ての路線バス・支線バスで  
全国交通系ICカードが利用可能に



02 定期券2枚持ちの解消



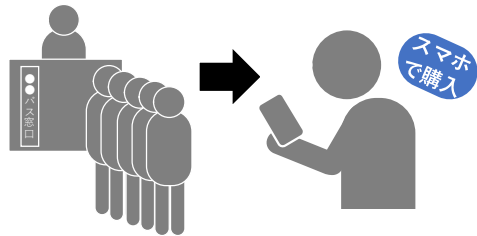
鉄道とバスで  
通勤・通学  
する場合

<JRの定期> + <バスの定期> → <JR・バスの定期>



※モバイルICOCAも可

03 窓口に行かなくても  
定期券が購入可能に



## 8 ゾーン運賃制・金額式定期券の導入と定期券価格の上限設定による「高頻度・広範囲利用の促進」

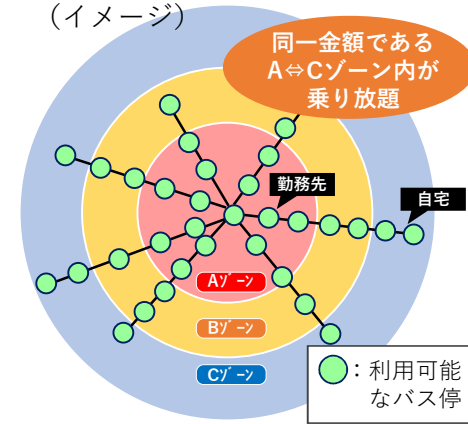
### <ゾーン運賃制・金額式定期券の導入>

- 通勤・通学だけでなく、買い物や通院など様々なシーンで高頻度・広範囲の利用を促進するため、新たな運賃体系として、**ゾーン運賃制を導入**するとともに、**定期券を区間式から「金額式」に変えることで、ゾーン内乗り放題**とする。

### <運賃設定と定期券価格の上限設定>

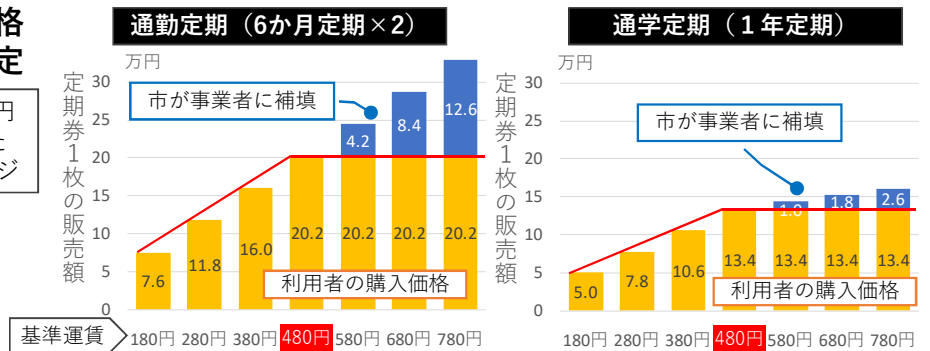
- 運転手確保のための賃上げや老朽化した車両更新などの供給力強化に向けた投資が不可欠であるため、**運賃水準の引き上げが必要な状況**。
- 一方、利用促進を図るためには、特に中・長距離の定期券価格に上限を設定するなど、**利用しやすい水準に下げ**る必要がある。
- このため、**定期券の通常価格と上限価格の差額を行政が負担**することで、事業者の経営の安定化とともに、**利用しやすい定期券価格の抑制による利用促進**を図る。

### ■ ゾーン制での金額式定期券（イメージ）



### ■ 定期券価格の上限設定

基準運賃480円を上限とした場合のイメージ



# IC定期券の検討状況

## ■ 現在の検討状況

項目	内容
導入予定事業者	参加意向ありの5社 (岡山電気軌道、両備バス、中鉄バス、下電バス、八晃運輸)
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 路線バス (支線バス「FLAt」を含む)</li> <li>● 路面電車</li> </ul>
導入サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 異なる事業者・路線を同一の定期券で利用可能となるように、参加事業者で定期券を共通化</li> <li>● 発券は、現行の「各社での発券」から「岡山地区 (仮称)」に一元化し、定期券購入をわかりやすくするとともに、事業者の業務負担を軽減</li> <li>● JR西日本「iCONPASS」を参考に、システム仕様等について検討中</li> </ul>

## <参考> JR西日本「iCONPASS」

(出典) JR西日本HP

「iCONPASS」ならスマホ・PCから定期券を購入し、そのまま乗車!

**購入** → **利用**

● ICOCAの登録 ● 定期券の申込 ● 決済

登録したICOCAで利用可能

【決済方法】  
クレジット決済 (オンライン)  
現金決済 (コンビニ)

購入も簡単!  
そのまま乗車!

モバイルICOCA  
Apple PayのICOCA

・通学定期など割引定期も購入可能!  
・窓口に並ばず購入可能!  
※利用可能な定期券、決済手段は事業者により異なります

## ■ 現時点の導入スケジュール (案)

	4月~	7月~	10月~	1月~	4月~	7月~	10月
要件設計	→						
機器等の調達		→					
ソフト開発			→				
機器等の取付				→			
テスト						→	
広報					→		

サービス開始

①サイトにアクセス

②券種等の選択

③証明書アップロード

④決済手続き

# <参考> ゾーン運賃制 (イメージ)

事業者提案



- <適用>
- 岡山市内全域 (ただし、岡山市内での乗降のみに限る)
  - 路線バス (幹線・支線) 及び路面電車

## <考え方 (4つのポイント)>

### ① 初乗り運賃は「現金200円、ICカード180円」

- 路線の維持に向けて、運転手確保のための賃上げや車両更新などの供給力強化のための投資に必要な水準として、初乗り運賃は200円に
- アンケート結果より、200円への値上げは多くの利用者が抵抗を感じるため、ICカード利用時は20円割引することで抵抗感を軽減

### ② 運賃加算は2ゾーン跨ぎ以降 (100円ピッチ)

- ゾーン境界付近の短い移動が現在より割高にならないよう、2ゾーン跨ぎ以降に加算
- 加算は、分かりやすい・支払いやすい (おつりが少ない) 100円ピッチで設定

### ③ 定期券を区間式から金額式へ移行 (サブスク導入)

- 同一金額内のゾーンであれば、全ての路線を乗り放題とする金額式定期券を導入し、従来の区間定期より利便性を向上させる
- 事業者間の共通定期券とし、WEB購入の新サービス導入

### ④ 定期券価格に上限設定

- 中・長距離は上限運賃を設定し、利用しやすい水準を維持
- 高頻度・広範囲利用へ誘導するため、定期券についてのみ上限設定
- 定期券の通常価格と上限運賃の差額は行政が補填し、事業者の経営を安定化とともに、利用しやすい定期券価格に抑制し利用促進

## ■ 運賃設定

<上段> IC利用  
<下段> 現金利用

※路面電車はゾーンA・B (200円均一)

	A	B	C	D	E	F	G	H
A	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)	680 (700)	780 (800)
B	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)	680 (700)
C	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)
D	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)
E	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)
F	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)
G	680 (700)	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)
H	780 (800)	680 (700)	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)

## ■ ゾーン境界

※事業者の提案 (Eゾーンまで) を参考に、市全域に拡張

